

漁獲量増大目指し サクラマス稚魚放流



関係者らによる放流

6月17日、村水産振興推進協議会（畑中 稔朗会長）主催により、老部川内水面人工河川にて「サクラマス稚魚放流式」が行われました。

当日は、平均尾叉長7.0cm、体重4.5gのサクラマス稚魚5,000尾が、村議会、村内漁業協同組合、下北農林水産事務所、むつ水産事務所、東京電力ホールディングス(株)、東北電力(株)など、約30名の関係者の手によって放流されました。

また、これに先立ち、協議会では、6月13日には小老部川および老部川へ計45,000尾の稚魚を放流しており、今年度の放流数はあわせて5万尾となりました。

この放流事業は、サクラマスの漁獲量増大を目的としており、今年で28年目を迎えます。村では、サクラマス「つくり育てる漁業」の重要な魚種として、今後も資源の維持・増大に努めてまいります。

竹林 勝幸氏（大利）に瑞宝単光章

竹林 勝幸氏（大利）が、令和7年春の叙勲で、瑞宝単光章を受章されました。

6月27日、東通村役場を訪れ、畑中村長に受章の報告をしました。竹林氏は東通村消防団第11分団団長を務めるなど、永年にわたり消防発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたことが認められ、今回の受章となりました。

竹林氏のご功績に対し深く敬意を表しますとともに、ご尽力に改めて感謝し、ご栄誉を心からお慶び申し上げます。



瑞宝単光章を受章された竹林氏と畑中村長

「栗原心平さんとBBQしよー♪」開催



料理中の栗原心平さん



BBQを楽しんでいるご家族



集合写真

6月28日、村公式アンバサダーの栗原 心平さんと、県内から公募により集まった参加者によるイベント「栗原心平さんとBBQしよー♪」が昨年に続き今年も開催されました。

今回のレシピも栗原さんが考案した「アワビのグリル 肝ソース」「きくらげと牛肉の混ぜご飯」等、新鮮な村の食材をふんだんに使った料理を作りました。